

日医ニュース

2018. 9. 5 No. 1368

日本医師会
Japan Medical Association

〒113-8621 東京都文京区本駒込2-28-16
電話 03-3946-2121(代)
FAX 03-3946-6295
E-mail www.info@po.med.or.jp
http://www.med.or.jp/

毎月2回 5日・20日発行 定価 2,400円/年(郵税共)



- トピックス**
- 定例記者会見 3面
 - 横倉会長 尾崎高知県知事と会談 3面
 - 役員紹介<常任理事> 4~5面

横倉会長・安倍総理 特別対談

国民の安心を支える社会保障制度を堅持していくために



今号では、横倉義武会長が7月25日、安倍晋三内閣総理大臣を総理官邸に訪ね、「社会保障と経済の関係」「災害対応」「これからの医療」等、幅広いテーマで対談した模様を紹介する。

横倉 昨日はお忙しい中、役員就任披露パーティーにいらして頂き、ありがとうございました。パーティーも大変盛会でしたね。

安倍 医療のことは、いつも横倉会長に教えて頂いていますし、大変お世話になっていますので、ぜひお祝いに駆け付

身の引き締まる思いをした次第です。

安倍 横倉会長は、昨年世界医師会長にもご就任されていますが、そのお仕事も、かなりお忙しいのではないですか。

横倉 世界医師会の事務局がフランスのフェルネイ・ポルテにあるのですが、そこに事務総長がいて、仕事を切り替えてもらっています。

安倍 トルコ医師会の会長ら幹部11人が、トルコ軍が隣国シリア北西部でクルド人勢力を相手に行って

いる軍事作戦を批判したとして、トルコ政府から拘束された際には、世界医師会長として、その解放を求める声明を出したこともありました。

安倍 世界医師会長の仕事というのはいろいろなかがあるんですね。他にも、今後予定されていることなどはありますか？

横倉 はい。来年G20が日本で開催されるのに合わせて、世界医師会加盟医師会とWHO地域事務局に集まってもらい、H20(ヘルス・プロフェッショナル会合)を開催したいと考えています。そこでは、「ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ(UHC)の推進」をテーマに議論する他、今後、高齢化が進む中で重要になってくる行政と医師会の連携の方策についても話し合っていきたいと思っています。

安定し、給与等の形で医療従事者に還元されることは、わが国の経済全体への波及効果も大きいのではないのでしょうか。

安倍 おっしゃるとおり、医療・介護分野を始めとする社会保障分野の経済への波及効果は全産業平均より高く、雇用を誘発する効果も主要産業と比較して高いという調査研究もありますね。

横倉 産業別にどのぐらいの人数の人が就業しているかという統計データを見ても、医療・福祉分野で就業する人の割合が増加しており、地域の雇用に対して大きなプラスの効果も有していると言えます。

確かに、医療や介護等の社会保障費は増加が見込まれますが、その中でも、健康寿命の延伸、医療・介護サービスの生産性向上など、さまざまな方策を議論していきたいと思っています。

また、2019年10月の消費税率引き上げと合わせて、3歳から5歳までの幼児教育無償化や、2020年4月からは真に必要な子ども達の高等教育の無償化を行います。お年寄りも若者も安心できる全世代型の社会保障制度へと大きく転換してきたいと考えています。ぜひ、日医の先生方にもご協力をお願いいたします。

横倉 日医では、社会保障の充実によって国民の不安を解消することを提言しています。

安倍内閣が掲げている「1億総活躍」「働き方改革」「人づくり革命」の実行や、企業の内部留保の一部の給与への還元などによって社会保障が充実し、需要の創出・雇用拡大や地方創生、経済成長をもたらし、更に賃金を上昇させるといった経済の好循環を生み出すことができれば、国民の不安も解消していくと思えます。

安倍 先ほども述べましたが、約5年半のアベノミクスにより、日本経済は長期にわたるプラス成長を続け、5年連続の

この約5年半で名目GDPは56兆円増え、11.3%成長しました。賃金も、日本労働組合総連合会(連合)の調査によれば、今世紀に入って最も高い水準の賃上げを5年連続で実現しています。デフレ脱却に向けて、日本経済は確実に前進を続けています。

横倉 医療機関には全国で300万人以上が従事しており、医療分野は他の産業よりも雇用誘発効果が大きいのが特徴です。つまり、医療に財源を投入すると、特に医療従事者の比率が高い地方の経済成長を促し、地方創生への多大な貢献につながります。

医療機関が経営的にも

進めてきました。

横倉 2012年12月の第2次安倍内閣発足から早いもので、5年8カ月が経ちましたが、安倍内閣の看板政策であるアベノミクスは着実に成果を上げ、就任直後の同年12月から始まった景気回復局面は、これまで66カ月間も続いていますね。

安倍 第2次安倍政権の発足前には、日本はもう成長しないのではないかと、成長しなくてもいいのではないかとという諦めにも似た停滞感がありました。しかし、国民の皆さんの生活を守り、社会保障費を賄うためには、強い経済を取り戻し、成長と分配の好循環をつくり上げていかなければなりません。そういう強い思いで、アベノミクスを

国民の安心を支える社会保障制度を堅持していくことは、成長と分配の好循環を実現していく上でも不可欠です。時代の変化に応じ、不断の改革を行い、国民の皆さんの理解と安心が得られるように取り組んでいく所存です。

横倉 ぜひ、私どもその実現に向けて協力していきたいと思えます。次に、かかりつけ医についてお伺いします。かかりつけ医は地域の中で、日々、患者さんに寄り添って診療しています。これが、わが国の医療制度を支える柱であると考えています。

そのため、国民の皆さんにかかりつけ医をもつことを呼び掛けており、かかりつけ医の先生方には、地域包括ケアシステムのリーダーとな

医療機関の経営安定が経済全体により良い影響をもたらす

医療機関が経営的にも安定し、給与等の形で医療従事者に還元されることは、わが国の経済全体への波及効果も大きいのではないのでしょうか。

安倍 おっしゃるとおり、医療・介護分野を始めとする社会保障分野の経済への波及効果は全産業平均より高く、雇用を誘発する効果も主要産業と比較して高いという調査研究もありますね。

横倉 産業別にどのぐらいの人数の人が就業しているかという統計データを見ても、医療・福祉分野で就業する人の割合が増加しており、地域の雇用に対して大きなプラスの効果も有していると言えます。

確かに、医療や介護等の社会保障費は増加が見込まれますが、その中でも、健康寿命の延伸、医療・介護サービスの生産性向上など、さまざまな方策を議論していきたいと思っています。

また、2019年10月の消費税率引き上げと合わせて、3歳から5歳までの幼児教育無償化や、2020年4月からは真に必要な子ども達の高等教育の無償化を行います。お年寄りも若者も安心できる全世代型の社会保障制度へと大きく転換してきたいと考えています。ぜひ、日医の先生方にもご協力をお願いいたします。

横倉 日医では、社会保障の充実によって国民の不安を解消することを提言しています。

安倍内閣が掲げている「1億総活躍」「働き方改革」「人づくり革命」の実行や、企業の内部留保の一部の給与への還元などによって社会保障が充実し、需要の創出・雇用拡大や地方創生、経済成長をもたらし、更に賃金を上昇させるといった経済の好循環を生み出すことができれば、国民の不安も解消していくと思えます。

安倍 先ほども述べましたが、約5年半のアベノミクスにより、日本経済は長期にわたるプラス成長を続け、5年連続の

（1面より）
る役割を担って欲しいと思っ
ています。この点については
いかがでしょうか。

安倍 医療を受ける患者の立場からすれば、大病院に行かなくても、身近なところで、気軽に相談できるという安心感を得られることは非常に大切なことだと思います。地域包括ケアを推進するに当たっては、地域で日常的に医療が提供され、健康相談を受けられるか

かりつけ医機能が、重要な役割を果たすと期待しています。

平成30年度の診療報酬改定においても、かかりつけ医機能を有する医療機関の診療報酬を充実することなどを行いました。国としてもかかりつけ医の普及を推進していきたいと考えています。

横倉 わが国では、患者さん自身が信頼する医師を選ぶことができますが、かかりつけ医の側でも患者さんを選ばれるよう、日々研鑽していく必要があります。

そこで日医としても、患者さんから一層信頼される医師として活躍して頂くために、「日医かかりつけ医機能研修制度」を平成28年4月から実施しています。これまでに延べ2万6千人が受講しています。

安倍 信頼できるかかりつけ医の先生に出会

い、その先生に何でも相談し、診て頂くことで、安心して仕事を続けたり、地域で暮らしたりしていくことができるのではないのでしょうか。そうなる、仕事やプライベートでも、安心してチャレンジができると思うのです。

横倉 次に災害対応に

関しては、最近でも大

阪北部地震や平成30年7月豪雨があったように、わが国は数多くの自然災害に見舞われる危機を有しています。

日医では災害時に、都道府県医師会の協力の下に、JMATを派遣して

いますが、その最終的な目標は被災地の医療、地域包括ケアを取り戻すことにあります。

横倉 現在、被災者支援にはさまざまな医療チームが当たっていますが、特にJMATに期待されることはありますか。

安倍 7月の豪雨災害でも、各地から派遣されたJMATが、避難所におられる被災者の方々の医療や健康管理を中心に、大きな役割を果たして頂いたと聞いています。その献身的な活動に改めて御礼申し上げたいと思います。

また、今回の豪雨災害では、先日の中央防災会

人生百年時代です。多くの医師が、それぞれの人生を歩む患者の皆さんから「この先生こそ信頼できる先生だ」と選ばれ、かかりつけ医と患者が強い信頼関係で結ばれるよう、「日医かかりつけ医機能研修制度」に期待しています。

横倉 次に災害対応に

関しては、最近でも大

阪北部地震や平成30年7月豪雨があったように、わが国は数多くの自然災害に見舞われる危機を有しています。

日医では災害時に、都道府県医師会の協力の下に、JMATを派遣して

いますが、その最終的な目標は被災地の医療、地域包括ケアを取り戻すことにあります。

横倉 現在、被災者支援にはさまざまな医療チームが当たっていますが、特にJMATに期待されることはありますか。

安倍 7月の豪雨災害でも、各地から派遣されたJMATが、避難所におられる被災者の方々の医療や健康管理を中心に、大きな役割を果たして頂いたと聞いています。その献身的な活動に改めて御礼申し上げたいと思います。

また、今回の豪雨災害では、先日の中央防災会

がります。国土強靱化は、ともすれば橋や道路などハードが重視されがちですが、地域連携や人づくりといったソフトも大切です。そうした取り組みが、まちづくりの新しい基本ではないのでしょうか。

安倍 災害から人命や

社会を守る国土強靱化ですが、30万人を超える医師を始めとする医療関係者の皆様の役割がとて

大きいと考えています。この国づくりにはハード整備も必要ですが、医療も含めて、専門家の育成、それを支える地域コミュニティの維持などソフト対策も欠かせないから

です。そうした観点からも、地域包括ケア体制をしっかりと構築し、かかりつけ医を始め、地域の医師会や保健所等、さまざまな関係者が普段から顔の見える関係を築き、いざ災

害という時には、切れ目のない支援につなげてい

と考えています。

横倉 ところで、年末

に向けた医療界の最重要課題として、控除対象外消費税率の問題があります。その解決に向けて、平成30年度税制改正大綱には、「平成31年度税制改正に際し、税制上の抜本的な解決に向けて総合的に検討し、結論を得る。」と明記して頂きました。

「控除対象外消費税率問題解消のため、診療報酬への補てんを維持した上で、個別の医療機関等において診療報酬に上乗せされている仕入れ税額相当額に過不足が生じる場合には、申告により補てんの過不足に対応する新たな税制上の仕組みを平成31年度に創設」頂くことを、日医を始め、日本

横倉 控除対象外消費税率

問題として、控除対象外消費税率の問題があります。その解決に向けて、平成30年度税制改正大綱には、「平成31年度税制改正に際し、税制上の抜本的な解決に向けて総合的に検討し、結論を得る。」と明記して頂きました。

「控除対象外消費税率問題解消のため、診療報酬への補てんを維持した上で、個別の医療機関等において診療報酬に上乗せされている仕入れ税額相当額に過不足が生じる場合には、申告により補てんの過不足に対応する新たな税制上の仕組みを平成31年度に創設」頂くことを、日医を始め、日本

歯科医師会、日本薬剤師会、四病院団体協議会等は等しく掲げ、「医療界が一つになった要望」と位置づけていますが、本問題の解決に向けての政府側の検討状況はいかがでしょうか。

安倍 来年10月の消費税率の引き上げに向けて、税制改正の議論が年末までの間に進められていき

けるようにしていきたいと考えています。

横倉 最後にになります。今後の医療についてお伺いします。

がんを始めとしたゲノム医療が発展を見せていますが、機微性が極めて高い遺伝情報については、漏洩防止の徹底や、遺伝情報を伝えられた患者へのカウンセリングも必要であり、加えて遺伝情報による差別等への対応など、倫理面も重要です。

がんや難病などの克服は国民、患者の希求であり、このようなゲノム解析情報・臨床情報の収集・分析による革新的治療法や診断技術の開発が期待されますが、この点についてはいかがでしょう。

安倍 がんは、国民の

2人に1人が罹ると言われています。一人ひとりに最適化されたがん治療を実現するためにも、がんゲノム医療をしっかりと推進していく必要がある、その中心となる医療機関の確保など、体制の整備や人材育成に取り組

ついで、2018年末に取りまとめられる与党税制改正大綱を踏まえながら、引き続き、日医を始めとする医療関係者の方々の議論の状況等も考慮しつつ、しっかりと検討していきたいと考えています。

横倉 そのような中で、高いセキュリティを確保した上で、品質の良いデータを数多く集めて、個人情報保護に守りつつ、学術研究だけでなく、新産業の創出にも活用できるような社会的な仕組みを整備するため、「次世代医療基盤法」がいよいよ施行されま

安倍 データを基にした診断は、最終的には医師の責任で行うべきで、患者さんやご家族に寄り添って治療方針を提示することも、人間としての医師の仕事である私達は考えていますが、いかがでしょうか。

横倉 安倍総理も同じ考えだと思います。本日はお忙しいところ、ありがとうございました。

安倍 こちらこそありがとうございました。

ついで、2018年末に取りまとめられる与党税制改正大綱を踏まえながら、引き続き、日医を始めとする医療関係者の方々の議論の状況等も考慮しつつ、しっかりと検討していきたいと考えています。

また、その際には、もちろん情報の保護には漏れなきようにしなければなりませんし、ゲノム情報が適切に管理、利活用され、新しい医療技術の創出につながるようなシステムの構築にも努めていきたいと思

横倉 そのような中で、高いセキュリティを確保した上で、品質の良いデータを数多く集めて、個人情報保護に守りつつ、学術研究だけでなく、新産業の創出にも活用できるような社会的な仕組みを整備するため、「次世代医療基盤法」がいよいよ施行されま

安倍 データを基にした診断は、最終的には医師の責任で行うべきで、患者さんやご家族に寄り添って治療方針を提示することも、人間としての医師の仕事である私達は考えていますが、いかがでしょうか。

横倉 安倍総理も同じ考えだと思います。本日はお忙しいところ、ありがとうございました。

安倍 こちらこそありがとうございました。

また、その際には、もちろん情報の保護には漏れなきようにしなければなりませんし、ゲノム情報が適切に管理、利活用され、新しい医療技術の創出につながるようなシステムの構築にも努めていきたいと思

横倉 そのような中で、高いセキュリティを確保した上で、品質の良いデータを数多く集めて、個人情報保護に守りつつ、学術研究だけでなく、新産業の創出にも活用できるような社会的な仕組みを整備するため、「次世代医療基盤法」がいよいよ施行されま

安倍 データを基にした診断は、最終的には医師の責任で行うべきで、患者さんやご家族に寄り添って治療方針を提示することも、人間としての医師の仕事である私達は考えていますが、いかがでしょうか。

横倉 安倍総理も同じ考えだと思います。本日はお忙しいところ、ありがとうございました。

おっしゃるとおり、健康分野は、膨大な個人データを扱う領域であり、ICT化による情報連携や情報提供の迅速化・効率化、情報の蓄積による分析の高度化など、多岐にわたる効果が期待できる分野です。その中においても、診断や治療の責任については、法律上当然、医師に帰属することになります。活用可能なデータの質や量は、技術革新による更なる進展が見込まれますが、その中から何をどう活用するかは患者一人ひとりに寄り添った個別的な判断が求められます。今後も診断や治療に際しては、医師の皆様にご協力をお願いします。

横倉 安倍総理も同じ考えだと思います。本日はお忙しいところ、ありがとうございました。

安倍 こちらこそありがとうございました。



安倍首相と横倉会長との対談の様子。

日医 定例記者会見

8月22日

女性医師支援の 更なる充実に努める

めて報告した。



今村聡副会長は、日医の女性医師支援の状況、今後の方向性について改めて報告した。

東京医科大学の入試に
関する問題については、
8月3日に日医として見
解を公表した(本紙第1
367号既報)ところで
あり、文部科学省では全
国81の医学部医学科を対
象に緊急調査が実施され
ている。
日本社会の中で女性の
活躍が進んでおり、医療
界においても女性医師の
数が今後ますます増加す
ることが予想される一
方、昨今、医師の働き方
が取り沙汰されている中
で、とりわけ女性医師の
働き方、勤務環境づくり
が注目されていることを
踏まえ、今回の会見は日
医の取り組みを詳細に紹
介するために行われたも
のである。
同副会長はまず、日医
の女性医師支援の取り組
みは、平成10年度の「女
性会員懇談会」の設置よ
り始まり、今年度で21年
目になること、女性医師
を取り巻く環境の改善と
男性医師の意識改革を目
指す「男女共同参画フォ
ーラム」の開催は、今年
度で14回目を迎えること
を説明した。
また、平成18年度には、
厚生労働省から「医師再
就業支援事業」を受託し、
平成19年1月に「女性医
師バンク」を開設。平成
21年度には事業名を「女
性医師支援センター事
業」に変更し、就業斡旋
に加え、都道府県医師会
や学会の協力を得て、講
習会等による啓発活動に
も注力するなど、その取
り組みを強化しているこ
とを説明した。
また、研修医や研修医
の時期から男女共同参画
やワークライフバランス
について理解してもらう
ことを目的とした「医学
生、研修医等をサポート
するための会」や、女性
医師がキャリアを中断す
ることなく就業を継続す
るために、病院長を始め
上司・同僚等、組織の理
解を深めることを目的と
した「女性医師の勤務環

横倉会長 尾崎高知県知事と会談 全国知事会「健康立国宣言」実現に向けた 協力要請を受ける



横倉義武会長は8月3日、日医会館を訪問した。全国知事会社会保障常任

りまとめた「健康立国宣言」の説明並びに、その実現に向けた協力要請を受けた。
同宣言は既に、各地域で行われている「インセンティブを活用した健康づくりの取り組み」「運動習慣・食生活の改善」「特定健診の受診率の向上のための取り組み」「禁煙・受動喫煙防止対策」などの先進・優良事例を共有し、幅広く横展開する取り組みを開始すること、人々の生活の質の向上を図りつつ、社会保障制度の持続可能性を高めることともに、社会に活力をもたらし「健康立国」の実現に向けて、地方は「地方の責任」をしっかりと果たすことを宣言したものとされている。
当日、尾崎知事は資料を基に宣言の内容等を詳細に説明。その上で、「国民の生活の質を向上させながら、医療費の適正化を図っていききたい」として、実現に向けた協力を要請した。
これに対して、横倉会長は、「全国知事会がアクトタイプに行動されることは大変素晴らしい」と

医療安全の観点から 医薬品原薬の 追跡性の必要性等を強調



長島公之常任理事は、医薬品の原薬を含めた追跡性確保等に対する日医の見解を述べた。

同常任理事はまず、7月にジェネリック医薬品に本来含有されるはずのない発がん性物質が混入したとの報道があったことに触れ、「厚生労働省によれば、原因究明はまだなされていない。当該原薬を製造した工場は今でも存在しており、そこで仮に原薬の不適切な製造工程が続いているとすれば、日本だけでなく世

界中の患者が危険にさらされていることになる」と懸念を示した。
また、当該医薬品については、回収状況は報告されているものの、どの程度調剤されているかは判明していないことを問題視。
「患者の安全のために原薬も含めたトレーサビリティの確保が重要。日医はこれまでも原薬や添加剤、医薬品としての製剤の生産国について情報開示を強く要望してきたが、医師や薬剤師が使用する前に把握し、医薬品選択の参考にできるように、企業が情報提供を行うことが必要ではないか」と述べた。
更に、行政は企業が持っている品質管理を適切に監督する義務があり、これが正しく実施されることによって患者が使用する医薬品等の品質が担保されるとの見方を示した。
最後に同常任理事は、「ジェネリック医薬品については、品質・有効性・安全性が先発医薬品と同等であるという説明を受け、日医は国の使用促進政策に協力してきた。しかし、今回のように品質や患者の安全が担保されない状況においては、安心して医療が行えない」と強調するとともに、中川俊男副会長が出席している厚労省の「医薬品医療機器等制度部会」において、引き続き患者の安全を守る視点で、原薬から製剤まで医薬品を製造・流通に係る企業の責任についても厳しく議論を行っていく方針であることを説明した。

役員紹介へ常任理事

— 就任に当たったの抱負と 担当業務について —

小玉 弘之 常任理事



総務、年金・税制、医師国保、男女共同参画、有床診療所、女性医師支援センター

この度、常任理事に選任・選定を頂きました小玉弘之でございます。

総務、年金・税制、医師国保、男女共同参画、女性医師支援センター、有床診療所を担当させて頂きます。

特に、総務担当という大変重い役割を仰せつかったことに、覚悟を新たにしたいところであります。

総務担当として、日医事務局との横断的連携強化、役員相互の連携強化を心掛けて参ります。

また、医療に関わる税制については、今後、更なる税負担増が予想される中、これまでの日医の要望を踏まえて医療経営がしっかりと成り立ち、継続できるよう努力して参ります。

女性医師支援センター事業については、これか

に、有床診療所の経営が永続的に成り立つよう、関係各所に配慮を求めていくことが肝要と思われ

る中で、医療・介護等のビッグデータによるデータベースの構築と利活用が求められ、急激に変貌

してはいますが、徐々に医療等IDと全国を縦横に結ぶ医療・介護分野ネットワークの確立という二つの基盤に関する議論が

進んでおり、整備の時限も設けられました。更に個人情報保護とセキュリティの問題など、これらの実現に向けての最終段階の準備が求められています。

また、地域包括ケアシステムの時代における災害対策やJMAT等の医療支援体制の確立も急務です。

この4月からは新たな仕組みによる専門研修を開始することができましたが、サブスペシャルテ

道永 麻里 常任理事



財務、会員福祉、学校保健、国際

秋田県医師会長との兼任となりますが、総務担当常任理事として3副会長と共に横倉義武会長をお支えすることが私の最大の仕事と考えております。

今後の会員各位のご協力は、地域医療構想調整会議の議論の中で、多機能を有する有床診療所の在り方を確立するとも

日医常任理事として、4期目となります。今期は、国際、学校保健、財務、会員福祉を担当することとなりました。

横倉義武会長が世界医師会長に就任され、日医が世界で果たす役割が非常に大きくなりました。

学校保健では、横倉会長が中央教育審議会の委員に就任されてから、教育の場での医療の関わりが強くなりました。

3期目の常任理事就任に当たりまして、担当事項の課題の一端を申し述べます。

石川 広己 常任理事



医療政策、情報、救急災害医療、日医総研

今、日本の医療・介護のみならず社会保障の分野は全てに過渡期的な様相を帯びています。

医療政策、情報、救急災害医療、日医総研、そして天変地異が続いている中での救急災害医療であります。

また、ハーバード大学、Fudan公衆衛生大学院の武見国際保健プログラムの更なる周知、発展に

医師会と教育関係者との更なる連携を進めていきたいと思

前期は、学校保健の評価も含め、健康教育を重点的に議論し、学校医の先生方の負担を増大させ

また、前期に引き続き日本専門医機構の理事を務めることとなります

特にICT分野では、データヘルスが推進され

推進していかうと思

また、前期に引き続き日本専門医機構の理事を務めることとなります

釜范 敏 常任理事



地域医療、医療関係職種、感染症危機管理対策・予防接種

この4月からは新たな仕組みによる専門研修を開始することができましたが、サブスペシャルテ

また、前期に引き続き日本専門医機構の理事を務めることとなります

松本 吉郎 常任理事



常任理事2期目に選任・選定頂き、深く感謝申し上げます。

今回は新たに医療保険を担当いたします。中医学協委員として次期診療報酬改定に全力を傾ける所存です。国民皆保険を堅持し、引き続き、かかりつけ医の評価、入院医療体系、控除対象外消費税等の諸問題への対応を含め、しっかりと取り組んで参ります。

医療保険、国民生活安全対策、共同利用施設、産業保健、環境保健

勤務医の健康を共に守るべく対応して参ります。

環境保健に関しては、環境省の取り組みと連携し、必要な情報や提言を発信して参ります。小児在宅ケアは、会内委員会を引き続き開催し、その

普及に努めて参ります。また、新しい課題では、外国人医療対策について、会内委員会を設置し、訪日・在留外国人医療の諸問題の検討を行い、解決に向けて尽力いたします。

今後とも会長・副会長のご指導の下、国民に安全・良質な医療を提供できるように努めて参ります。会員の先生方のご指導をよろしくお願いいたします。

城守 国斗 常任理事



国民生活安全対策は、いわゆる健康食品の問題等に対し、食品の安全をテーマに議論し、改善に努めます。

共同利用施設の連携と充実、かかりつけ医を中心とした地域包括ケアシステムの構築のために不可欠であり、今後も医療・介護・福祉の拠点として円滑に機能できるようにサポートして参ります。

産業保健においては、産業界のスキルアップへの支援と産業界を守るための全国的な組織強化を図るべく取り組んで参ります。また、喫緊の課題である「医師の働き方改革」については、日医主導で地域医療の継続性と

この度、常任理事に選任・選定頂きました城守国斗です。何卒よろしくお願いたします。主担当としては、広報、勤務医、病院、健・検診、医療安全、検案、医賠責、副担当として、医療保険、介護保険、地域医療等多数となっております。

全て重要な業務ですが、特に広報に関しては、国民向け広報として、感染症等疾患情報を正確かつタイムリーに提供できる体制構築に努めることにも、大きく変わります。ある医療制度・政策に興味を向けたいと思える広報活動に注力したいと思っております。

この度、九州ブロックからの推薦で常任理事に選任・選定して頂きました、平川俊夫です。会務におきましては、主担当として先端医療(遺伝子医療、再生医療、生殖医療、臓器移植等)、周産期・乳幼児保健、医事法を所管いたします。先端医療の分野では、科学技術研究が急速に進歩する中で、ヒトの尊厳を守り、個人の情報が正しく守られた形で研究が進められるためには、国民に開かれた場での議論を通じた指針の整備が必要であり、日医として、生命倫理の尊重・医療の安全確保の観点から、関係省庁の審議会に臨んでいきたいと思っております。

平川 俊夫 常任理事



この度、九州ブロックからの推薦で常任理事に選任・選定して頂きました、平川俊夫です。会務におきましては、主担当として先端医療(遺伝子医療、再生医療、生殖医療、臓器移植等)、周産期・乳幼児保健、医事法を所管いたします。先端医療の分野では、科学技術研究が急速に進歩する中で、ヒトの尊厳を守り、個人の情報が正しく守られた形で研究が進められるためには、国民に開かれた場での議論を通じた指針の整備が必要であり、日医として、生命倫理の尊重・医療の安全確保の観点から、関係省庁の審議会に臨んでいきたいと思っております。

長島 公之 常任理事



この度、常任理事に選任・選定頂きました長島公之です。主担当として、労災・自賠責、健康スポーツ、電子認証センター、治験促進センター

この度、九州ブロックからの推薦で常任理事に選任・選定して頂きました、平川俊夫です。会務におきましては、主担当として先端医療(遺伝子医療、再生医療、生殖医療、臓器移植等)、周産期・乳幼児保健、医事法を所管いたします。先端医療の分野では、科学技術研究が急速に進歩する中で、ヒトの尊厳を守り、個人の情報が正しく守られた形で研究が進められるためには、国民に開かれた場での議論を通じた指針の整備が必要であり、日医として、生命倫理の尊重・医療の安全確保の観点から、関係省庁の審議会に臨んでいきたいと思っております。

この度、常任理事に選任・選定頂きました長島公之です。主担当として、労災・自賠責、健康スポーツ、電子認証センター、治験促進センター

この度、常任理事に選任・選定頂きました長島公之です。主担当として、労災・自賠責、健康スポーツ、電子認証センター、治験促進センター

この度、九州ブロックからの推薦で常任理事に選任・選定して頂きました、平川俊夫です。会務におきましては、主担当として先端医療(遺伝子医療、再生医療、生殖医療、臓器移植等)、周産期・乳幼児保健、医事法を所管いたします。先端医療の分野では、科学技術研究が急速に進歩する中で、ヒトの尊厳を守り、個人の情報が正しく守られた形で研究が進められるためには、国民に開かれた場での議論を通じた指針の整備が必要であり、日医として、生命倫理の尊重・医療の安全確保の観点から、関係省庁の審議会に臨んでいきたいと思っております。

江澤 和彦 常任理事



この度、常任理事に選任・選定頂き、皆様のご支援に心より感謝申し上げます。身の引き締まる思いと共に、日医執行部の職務に粉骨砕身の精神で精いっぱい励みたいと決意しております。主担当は、介護保険・福祉、認知症、在宅医療、精神保健、障害、精度管理、図書館でございます。

この度、常任理事に選任・選定頂きました長島公之です。主担当として、労災・自賠責、健康スポーツ、電子認証センター、治験促進センター

この度、九州ブロックからの推薦で常任理事に選任・選定して頂きました、平川俊夫です。会務におきましては、主担当として先端医療(遺伝子医療、再生医療、生殖医療、臓器移植等)、周産期・乳幼児保健、医事法を所管いたします。先端医療の分野では、科学技術研究が急速に進歩する中で、ヒトの尊厳を守り、個人の情報が正しく守られた形で研究が進められるためには、国民に開かれた場での議論を通じた指針の整備が必要であり、日医として、生命倫理の尊重・医療の安全確保の観点から、関係省庁の審議会に臨んでいきたいと思っております。

この度、常任理事に選任・選定頂きました長島公之です。主担当として、労災・自賠責、健康スポーツ、電子認証センター、治験促進センター

この度、常任理事に選任・選定頂きました長島公之です。主担当として、労災・自賠責、健康スポーツ、電子認証センター、治験促進センター

この度、九州ブロックからの推薦で常任理事に選任・選定して頂きました、平川俊夫です。会務におきましては、主担当として先端医療(遺伝子医療、再生医療、生殖医療、臓器移植等)、周産期・乳幼児保健、医事法を所管いたします。先端医療の分野では、科学技術研究が急速に進歩する中で、ヒトの尊厳を守り、個人の情報が正しく守られた形で研究が進められるためには、国民に開かれた場での議論を通じた指針の整備が必要であり、日医として、生命倫理の尊重・医療の安全確保の観点から、関係省庁の審議会に臨んでいきたいと思っております。

産業保健においては、産業界のスキルアップへの支援と産業界を守るための全国的な組織強化を図るべく取り組んで参ります。また、喫緊の課題である「医師の働き方改革」については、日医主導で地域医療の継続性と

この度、常任理事に選任・選定頂きました城守国斗です。何卒よろしくお願いたします。主担当としては、広報、勤務医、病院、健・検診、医療安全、検案、医賠責、副担当として、医療保険、介護保険、地域医療等多数となっております。

今後とも会長・副会長のご指導の下、国民に安全・良質な医療を提供できるように努めて参ります。会員の先生方のご指導をよろしくお願いいたします。

この度、九州ブロックからの推薦で常任理事に選任・選定して頂きました、平川俊夫です。会務におきましては、主担当として先端医療(遺伝子医療、再生医療、生殖医療、臓器移植等)、周産期・乳幼児保健、医事法を所管いたします。先端医療の分野では、科学技術研究が急速に進歩する中で、ヒトの尊厳を守り、個人の情報が正しく守られた形で研究が進められるためには、国民に開かれた場での議論を通じた指針の整備が必要であり、日医として、生命倫理の尊重・医療の安全確保の観点から、関係省庁の審議会に臨んでいきたいと思っております。

この度、常任理事に選任・選定頂きました長島公之です。主担当として、労災・自賠責、健康スポーツ、電子認証センター、治験促進センター

この度、常任理事に選任・選定頂きました長島公之です。主担当として、労災・自賠責、健康スポーツ、電子認証センター、治験促進センター

この度、常任理事に選任・選定頂きました長島公之です。主担当として、労災・自賠責、健康スポーツ、電子認証センター、治験促進センター

この度、常任理事に選任・選定頂きました長島公之です。主担当として、労災・自賠責、健康スポーツ、電子認証センター、治験促進センター

この度、常任理事に選任・選定頂きました長島公之です。主担当として、労災・自賠責、健康スポーツ、電子認証センター、治験促進センター

南から北から

東京都
東京都医師会雑誌
第678号より

一期一会
藤田 光裕

波はどのようにしてできるのか？

波は海の表面を吹く風によってつくられる。しかし、波乗りに適したクオリティーの高い波(表面が鏡のように整い、サイズが大きく、頂点から崩れる、張りのある波)は、ある程度の期間をかけて起こる特定の気象条件が重なってでる。

長い時間、海の広範囲にわたって強い風が吹き続けると、エネルギーが海面に伝播する。このエネルギーが小さな波を起し、風が吹き続けると、サイズと強さが増していく。より長い時間、より強く風が吹けば吹くほど、波は大きくなっていく。

グランドスウェルと呼ばれるハイクオリティーの周期の長い波は、はるかかなたの沖合の風によってつくられ、長い距離を旅して海岸線にたどり着く。台風が日本のはるか遠いところで発生し、そのウネリが台風よりも先に太平洋沿岸に数日かけてエネルギーを蓄えな

から届くと、波のサイズ、形は最高級なものになる。そして、どんなに良い波も、どんなに小さい波も二度と同じ波はない……一期一会。そう、そんな最高の波を求めて日々旅しながらサーフィンをしている。波乗りは、実に人生に似ていると思う。

サーフィンと言うと波に乗っている姿を連想されるだろうが、その波に乗るためには岸からパドリング(腕で漕ぐこと)して沖に出ないとならぬ。向かってくる波を乗り越えて出るわけだが、当然波が良い時は、大きい波が容赦なく襲ってくる。まさに人生の荒波にもまれている状態だ。

さて、波に乗るには、波と同じスピードに合わせる必要がある。そのためパドリングが非常に重要で、「この瞬間に全てのエネルギーを使う」と言う少し大げさだが、それくらいにスピードをかける。そして、波とシンクロできるような自然とボードが流れ出すように進む。波と一つになるこの瞬間こそ、波乗りの醍醐味を感じる。

実はここに、目に見えないメンタル面の競争が起きている。それは他のサーファーも同様なアクションをしており、この波に自分が乗るとい意識をアピールしている。

だが、ここにも優先権があり、ピーク(波の崩れ始める場所)に近いサーファーが、また早くtake off(ボードに立ち上がる)した方に優先権がある。

この勝負には、「この波は俺が乗る」という強いオーラを出すメンタルをキープしていないと、いつのまにか他のサーファーにどんどん波を取られてしまう。

夏の間は日の出も早く、早朝の4時から海に入る。実は仕事の前に波乗りして、定時の診察に間に合わせるというウルトラC的な事もやっている。

「波乗りはメンタルスポーツだな」と、調子が悪いと考えてしまふ。

夏の間は日の出も早く、早朝の4時から海に入る。実は仕事の前に波乗りして、定時の診察に間に合わせるというウルトラC的な事もやっている。

「お父さん宝塚好きだったし、あんた良く似てるわ」と。

滋賀県医師会報
第836号より

趣味は遺伝するのだからか？

竹葉 智至

私の父は多趣味な人であった。父は祇園の芸妓の置屋に生まれたが、水商売が嫌でサラリーマンになった。その父は、私が大学を卒業してすぐ、直腸がんであっけなくあの世に行ってしまった。私とは大人の会話をすることなど全くなく……。

私には1歳違いの姉がいて、子どもの頃、何度も姉に宝塚歌劇へ連れて行かれた。子どもの私にはそれはとても退屈嫌

「お父さん宝塚好きだったし、あんた良く似てるわ」と。

横倉会長

第5回メキシコ日系人医療セミナーに出席

横倉義武会長は8月10、11の両日、メキシコシティで開催された第5回メキシコ日系人医療セミナーに、メキシコ日系人医師会のホセ・ルイス・アカキ会長の招待を受け出席した。

10日の高瀬大使駐メキシコ大使主催の夕食会には、横倉会長の他、アカキ会長らメキシコ日系人医師会幹部が出席。来年、野口英世博士メキシコ黄熱病研究100周年記念セミナーを開催する意向

横倉会長は、「ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ（UHC）の推進」日本の経験から」と題した講演で、「UHCフォーラム2017」（昨年12月、東京で開催）においてUHCが世界各国の保健政策目標となり、世界の保健分野のリーダーが支援を表明したこと（本紙第13553号既報）、本年4月5日、WMA（世界医師会）会長としてテドロスWHO（世界保健機関）事務局長とUHCの推進と緊急災害対策強化を目的とした覚書を締結したこと（本紙第13600号既報）を紹介した。更に、来年6月のG20（大阪）に合わせ、UHC



アカキ会長（左）、高瀬大使（中央）と

11日のセミナーには、日系人医師、医学生、市民など約150名が参加した。

合)の開催構想を述べた他、日本の経験からUHCとしての国民皆保険の達成に至る歴史と将来にわたる堅持の在り方について言及した。

質疑では、子どもの肥満対策として、日本では学校保健における健康教育を通じた啓発を子ども自身にも行っていること、糖尿病対策では、2005年に日本糖尿病対策推進会議を設立し、日医を含む医療界、医療関連業界の団体に糖尿病の発症予防、早期発見・治療、合併症の予防に取り組んでおり、この活動が47都道府県単位でも展開されているとした。

また、平成30年7月豪雨に対する医療支援活動については、2011年3月の東日本大震災における被災地医療支援としてのJMATの活動を紹介した上で、「今回も200を超えるチームをJMATとして派遣した」と述べた。

セミナーに引き続き行われた日本国大使館主催の式典では、横倉会長に對してメキシコ日系人医師会、メキシコ日本医療財団の名譽會員証が授与された他、アカキ・メキシコ日系人医師会長他2名の日系人医師が、長年のメキシコにおける医師活動の功績をたたえられ、日本の外務大臣表彰を受けた。

締切
迫る

医師及び医療従事者も応募可能です!



応募締切

フォト部門

エッセー部門

2018年10月4日(木)必着

「生命を見つめるフォト&エッセー」(主催:日医、読売新聞社)では、人間や動植物のいのちの輝く一瞬をとらえた写真や、医師や看護師、患者との交流をつづったエッセーを募集しています。

医療従事者も応募可能となっていますので、ぜひ、ご応募願います。応募方法などの詳細は、日医ホームページ (http://www.med.or.jp/people/photo_essay/005110.html) 等をご参照下さい。

問い合わせ先:日医広報課 ☎03-3942-6483(直)

案内



平成30年度死体検案研修会(基礎)

◆主催：日医

◆日時：9月24日(月) 全課宛てFAXにて申し込み願いたい。

◆会場：日医会館大講堂

◆受講対象：医師

◆受講料：無料

◆申込方法：受講希望の方は日医ホームページ

から申込用紙をダウンロードし、必要事項を明記の上、日医医事法・医療安

・「死体検案 総説」(竹下治男日本法医学会理事) (福永龍繁東京都監察医務院長)

・「死体検案の実際」(大木實福岡県医師会監事)

・「救急における死体検案」(横田裕行日本救急医学会代表理事)

◆問い合わせ・申し込み

先：日医医事法・医療安

全課(☎03-3942-6484)

先：日医総研(☎03-3942-6475)

◆問い合わせ・申し込み

先：日医医事法・医療安全課(☎03-3942-6484) 先：日医総研(☎03-3942-6475) ◆問い合わせ・申し込み

かされている。内容は、「第1章病気をマネジメントする」「第2章 患者がインベーションを起こす」「第3章 もしドラッカーが病院の医師だったら」「第4章 なぜいま、「ドラッカー患者学」なのか」の全4章で構成されている。 カギを握るのは「患者中心のチーム医療」の確立であるとするともに、その実現のためのヒントはマネジメントの大家であるドラッカーの教えにあると指摘。その方法論を実際の医療・治療の現場に適用していくためのポイントが分かりやすく解説されており、大変興味深い。 定価 907円(税込) 発行 講談社 ☎03-5561-4415

日本医師・従業員国民年金基金 案内 本年の社会保険料控除を希望する方は早めに入会を！ 新規加入で9月中旬までに申出書を受け付けること、初回の引き落としは、2カ月遅れの11月1日となる。 この場合、基金掛金が社会保険料控除の対象となるのは12月引き落とし(本年の場合は12月3日)までなので、平成30年は2カ月分が控除される。 ご希望の方は、基金事務局(☎0120-700650)まで。

医師主導による医療機器開発のためのニーズ創出・事業化支援セミナー 開催日程

※開催時間はいずれも午後1時～5時

開催地	開催日	会場・場所		定員
		テーマ		
平成30年	第1回 東京	9月30日(日)	日本医師会館1階 大講堂	150名
	第2回 広島	10月13日(土)	TKPガーデンシティ PREMIUM広島駅前ホール2A	120名
		中国、四国地域セミナー		100名
		医工連携とオープンイノベーションについて		
第3回 福島	11月17日(土)	ふくしま医療機器開発支援センター	100名	
平成31年	第4回 東京	12月1日(土)	日本医師会館3階 小講堂/ホール	50名
		バイオデザイン手法による事業化支援集中ワークショップ		100名
	医師が有する潜在ニーズの具体化			
	第5回 神奈川	1月19日(土)	川崎商工会議所 川崎フロンティアビル2階	100名
		世界を目指す医療機器開発戦略 IoT、AI、ロボット、予防・健康を中心に		
	第6回 大阪	2月16日(土)	大阪大学医学部学友会館・医療情報センター(銀杏会館)3階ホール	250名
近未来の医療技術開発と産学連携による多様な連携に向けて再生医療、AI、ロボット等開発への展望				

◆主催：日医、経産省関東経済産業局 ◆後援：厚生労働省他 ◆参加対象：医師・医療関係者、大学・研究機関、製薬企業、ものづくり企業、行政・支援機関の方 ◆参加費：無料 ◆申込方法：参加希望者は、日本医師会医療機器開発支援窓口のホームページ(htt://www.daijishi.or.jp)から申し込み願いたい。

賢い患者 山口育子 著 本書の著者は、認定NPO法人「ささえあい医療人権センターCOML」(以下、COML)の理事長である。本書では、自身がCOMLとなげ出合い、活動に参加するようになったのか。そのきっかけとなった自身の病気体験を紹介するとともに、6万件近くの患者・家族からの電話相談から見えてきたこと、そこから抽出した課題に向き合ったため、

COMLが行っている医療機関を患者の目線で見て直す「病院探検隊」、患者が参加する「医療をささえる市民養成講座」などの活動が詳しく述べられている。 また、20年間二人三脚で歩んできたCOML創始者の病と最期をサポートした経験などにも触れることで、賢い患者とは何か、患者を支えるとはどういうことかを問いつけるものとなっている。 医療関係者と患者が協働することで、より良い医療を実現するために、本書は大変参考となり、一読をお勧めしたい一冊と言える。 定価 886円(税込) 発行 岩波書店 ☎03-5521-04000